

Tuesday

8/7

県大会を勝ち抜き、憧れの夢舞台へ！

もとしまだい き

佐賀商業の本嶋大暉選手、甲子園での活躍光る！



▲佐賀商業高校のグラウンドにて



▲佐賀県大会優勝時の様子

球児憧れの“甲子園”第100回全国高校野球選手権記念大会に佐賀県代表の佐賀商業高校選手として本嶋大暉さん(東多久町)が出場しました。

本嶋選手は東部小学校(現:東原岸舎東部校)2年生から野球を始め、目標としていた佐賀商業へ進学。昨年からは、内野手から捕手へ転向し、チームのため、人一倍の練習量でレギュラーに定着し、県大会優勝に貢献しました。

結果は富岡商(富山県)相手に初戦敗退となりましたが、本嶋選手は「試合の流れを見ながら冷静にボールの配給ができたと思います。7回では貴重な1点を甲子園の舞台でとることができ、嬉しかったです」と笑顔で振り返ります。現在は地元の少年野球の指導を手伝い、子ども達に野球の楽しさや魅力を伝えています。

Tuesday

8/21

一人ひとりが主役

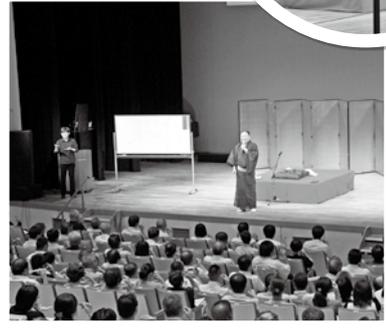
多久市同和問題講演会

8月の佐賀県同和問題啓発強調月間にあわせ、多久市同和問題講演会(主催:多久市・多久市教育委員会)を中央公民館で行いました。

この講演会は、一人ひとりが同和問題に関心を持ち、理解を深めることを目的に開催しており、当日は落語家の林家花丸さん(はなまる)による、古典落語の「時うどん」が披露され、落語は初めてという人たちも熱心に聞き入っていました。講演では、花丸さんが実体験を織り交ぜながら、心の色メガネで物事を見ず、同和問題に正しく向き合うことの重要性を伝えられました。参加者は「とても楽しく、考えさせられる講演でした。帰って家族に、今日のことを話したい」と話されました。



▲「時うどん」の唄を披露された



▲林家花丸さんの講演に耳をかたむける参加者



▲優勝報告に訪れ笑顔を見せる柿木選手



▲横尾市長と握手を交わす柿木選手

甲子園史上初！2度目の春夏連覇

大阪桐蔭エースの柿木蓮選手が優勝報告

Thursday

8/23

第100回全国高等学校野球選手権記念大会で優勝した大阪桐蔭高校エースの柿木蓮選手が市役所を訪れ、横尾市長に優勝報告を行いました。

柿木選手は、北部小学校(現:東原岸舎中央校)2年生から野球をはじめ、中学生からは唐津市の硬式野球チーム東松ボーイズに所属。15歳で故郷の多久市を離れ、大阪桐蔭高校に進学しました。

大会では春夏連覇をかけたプレッシャーもある中、エースナンバーの「1」を背負い、今大会最速となる151キロを記録するなどの活躍を見せ、史上初となる2度目の春夏連覇の偉業達成に貢献しました。

市役所正面玄関で出迎えた東原岸舎西溪校と牛津小学校の野球チームの子どもたちは「すごい！会えてうれしい！」と満面の笑みを見せ、柿木選手は子どもたちに対し「甲子園は大好きな野球を楽しむところ。今やっていることを信じ、続けてほしい」と激励しました。

まちなわだ